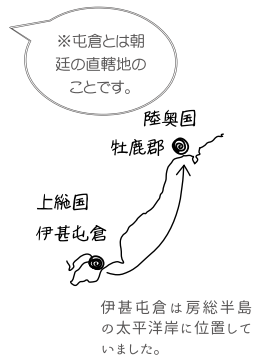


昔ばなし

丸子氏と道嶋氏のおはなし

牡鹿郡を治めた豪族

1 古代牡鹿郡を治めた道嶋氏は、上総国伊碁屯倉いじみのみやけ（千葉県南東部）から移住してきた丸子氏の子孫と考えられています。



2 丸子氏は現地の有力な農民層であったとみられます。矢本横穴の造営が大化の改新の頃（飛鳥時代の中頃）には始まっているため、丸子氏はこの頃には移住してきたと考えられます。



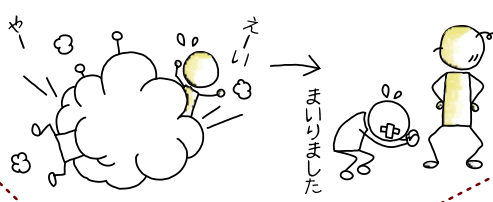
3 一族のひとり丸子嶋足はまるこしまたり天平 19 (747) 年頃、奈良の都に「授刀舎人」という役人として出仕しました。



4 そして天平勝宝 5 (753) 年に嶋足は「牡鹿連」の姓を賜りました。



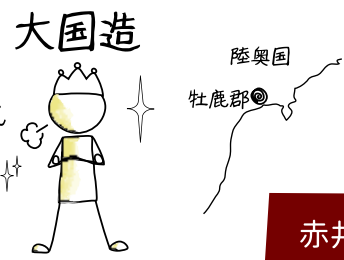
5 天平宝字 8 (764) 年の藤原仲麻呂の乱のときに上皇方につき、武勲をたてたことにより、それまでの従七位上から従四位下に昇進し、貴族の仲間入りを果たしました。



6 地方豪族が貴族になることはほとんどありませんでしたが、異例の大出世でした。



みちしまのすくね「道嶋宿禰」を賜った嶋足は、神護景雲元 (767) 年には陸奥国大 国 造となり、一族とともに、陸奥国全般に権力を持つようになりました。



8 その後の道嶋氏一族も伊治城の造営や蝦夷征討の際に活躍をしました。

道嶋氏一族



がんばりました!

赤井官衙遺跡群によって古代東北地方随一の豪族であった丸子・道嶋氏の足跡を知ることができます。

古墳時代	飛鳥時代	奈良時代	平安時代
593~622 聖徳太子摂政	645 乙巳の変 (大化の改新開始)	701 大宝律令	794 平安京遷都
	710 平城京遷都	720 蝦夷の反乱	802 胆沢城造営 (道嶋御桶 活躍)
	724 陸奥国府多賀城造営 (この頃牡鹿郡設置)	753 丸子嶋足、牡鹿連の賜姓 (丸子大國 活躍)	
		764 藤原仲麻呂の乱 (牡鹿連嶋足 活躍)	
		767 伊治城造営	
		774 蝦夷の反乱 (道嶋宿禰三山 活躍)	
		780 伊治公昔麻呂の乱 (牡鹿郡大領 道嶋大権 死去)	
		783 道嶋宿禰嶋足死去	

赤井官衙遺跡は遺構や遺物の時期により、大きく3つの時期にわけられます。